

資料－7 西三河及び東三河地域の地盤沈下調査結果

1 西三河地域

平成28年は水準測量を実施していない。

西三河地域の平成27年の観測結果は、前回の調査が平成25年のため、2年間（平成25年9月～平成27年9月）の変動状況である。有効水準点38点の内、沈下点は26点で沈下点数の割合は約68%となり、平成25年（26%）に比べ増加した。また1年当たりに換算して1cm以上沈下した水準点はなく、沈下域はなかった。

沈下点数の推移は資料表7-1、資料図7-1、年間地盤沈下域の面積と年間最大沈下量の推移（昭和50年～平成27年）は資料表7-2、主要な水準点の累積変動状況は資料図7-2のとおりである。西三河地域では、平成9年以降1cm以上の沈下点は観測されておらず、沈下域は昭和60年以降、平成2年を除いて生じていない。

年間沈下量の大きい水準点は、資料表7-3のとおり西尾市吉良町吉田万田に設置されている水準点「A358」であり、沈下量は0.36cmであった。

また、最近6年間の累積沈下量の大きい水準点を資料表7-4に示す。最大沈下地点は西尾市吉良町吉田万田に設置されている水準点「A358」で、1.43cm沈下している。

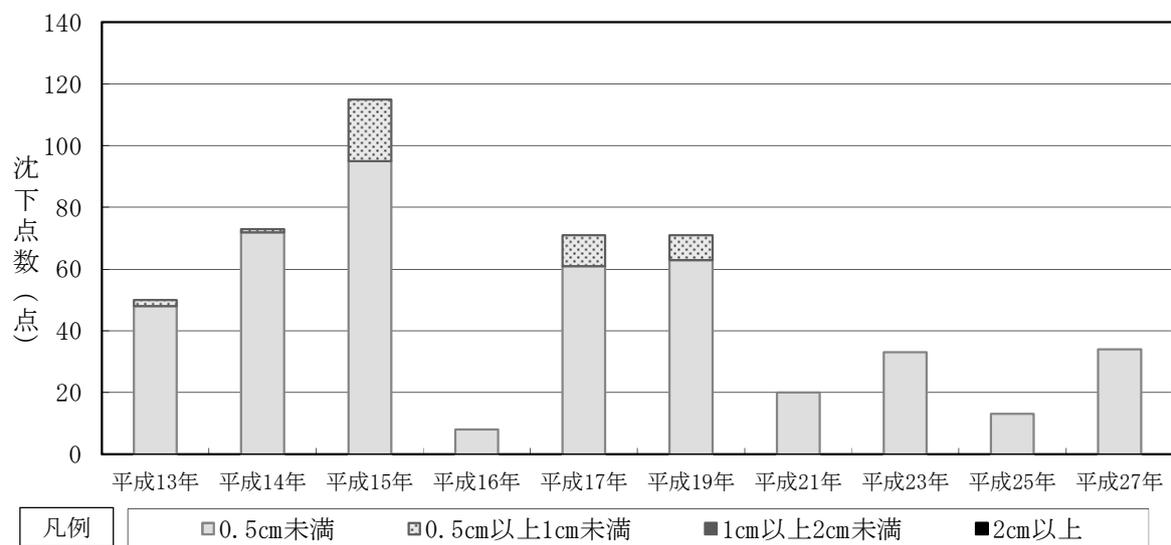
調査開始から平成27年までの累積沈下量が大きい水準点は、資料表7-5、資料図7-2のとおり、西尾市吉良町白浜新田北切に設置されている水準点「A200」であり、累積沈下量は45cmとなっている。

なお、西三河地域における累積沈下量のコンター図を資料図7-3に示す。

資料表 7-1 沈下を示した水準点数 (西三河地域)

単位：点

水準点数		観測年									
		平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年
有効水準点数		176	176	141	101	87	87	81	68	50	38
沈下点数	0.5cm未満	48	72	95	8	61	63	20	33	13	34
	0.5cm以上1cm未満	2	1	20	0	10	8	0	0	0	0
	1cm以上2cm未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2cm以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	50	73	115	8	71	71	20	33	13	34



資料図 7-1 沈下を示した水準点数 (西三河地域)

資料表 7-2 年間地盤沈下域の面積と年間最大沈下量の推移
(昭和 50 年～平成 27 年：西三河地域)

単位：km²

観測年 沈下量	昭和 50年	昭和 51年	昭和 52年	昭和 53年	昭和 54年	昭和 55年	昭和 56年	昭和 57年	昭和 58年	昭和 59年	昭和 60年	昭和 61年	昭和 62年	昭和 63年	平成 元年	平成 2年	平成 3年	平成 4年	平成 5年	平成 6年	平成 7年
1 cm 以上	0	約 3	約 4	—	約 8	約 20	約 64	約 9	約 16	約 16	約 0	約 0	約 0	約 0	約 0	約 4	約 0	約 0	約 0	約 0	約 0
2 cm 以上			約 0	—	約 0	約 0	約 10	約 0	約 0	約 0						約 0					
3 cm 以上				—		約 0	約 0														
4 cm 以上				—																	
最大 cm	0.7	1.6	2.3	—	1.2	3.1	3.5	2.7	2.7	2.4	1.1	1.5	1.7	1.35	1.69	2.20	1.11	0.67	1.41	0.92	1.01

観測年 沈下量	平成 8年	平成 9年	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
1 cm 以上	約 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
2 cm 以上											—		—		—		—		—	
3 cm 以上											—		—		—		—		—	
4 cm 以上											—		—		—		—		—	
最大 cm	1.27	0.93	0.75	0.36	0.55	0.64	0.52	0.95	0.39	0.91	—	0.83	—	0.37	—	0.26	—	0.22	—	0.36

注 1) 沈下域の面積で「約0」とは、沈下した水準点は存在するものの、沈下域の形成には至らなかったことを示している。また、「0」とは、沈下した水準点も存在しないことを示している。

注 2) 昭和53年、平成18年、平成20年、平成22年、平成24年、平成26年は測量を実施していない。昭和54年、平成19年、平成21年、平成23年、平成25年、平成27年の最大cmは、1年間に換算した変動量を示す。

資料表 7-3 年間沈下量ワースト 5 (西三河地域)

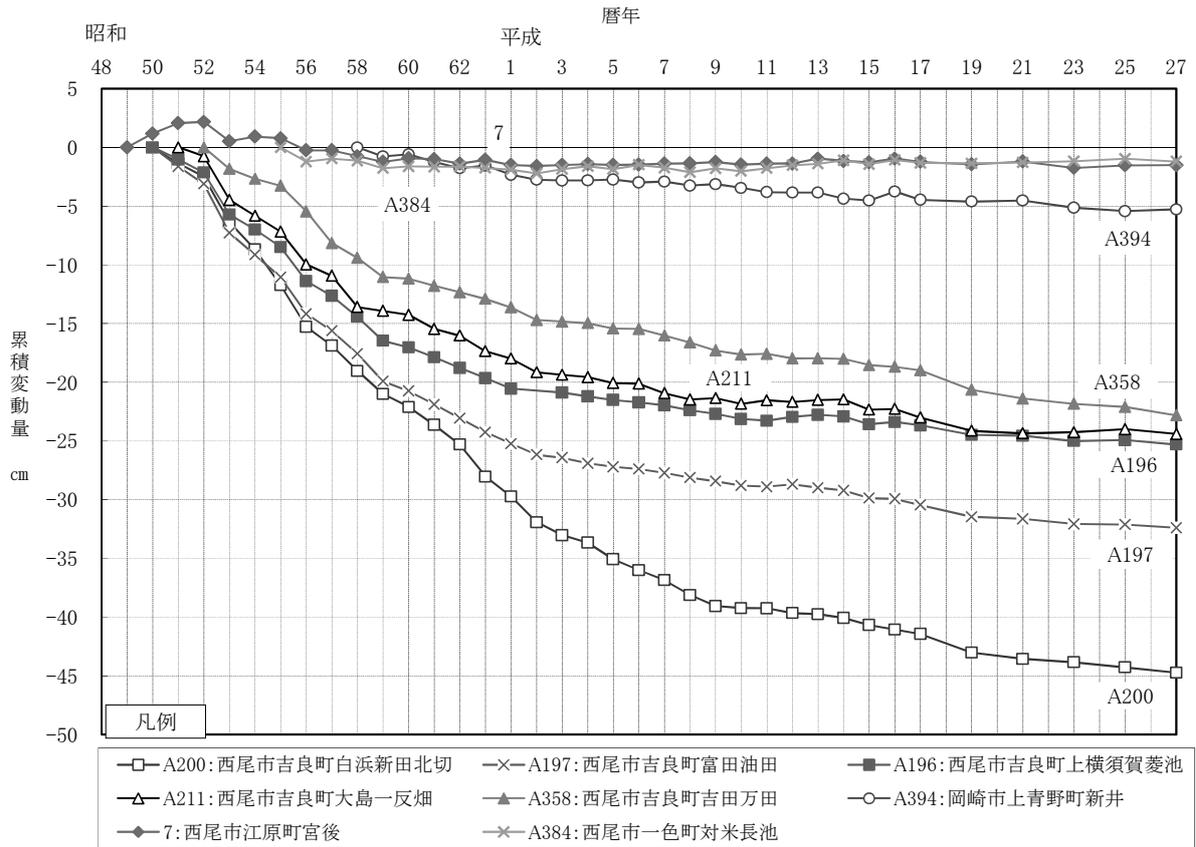
	水準点番号	所在地	沈下量(cm)
1	A358	西尾市吉良町吉田万田	0.36
2	32	西尾市吉良町大島上	0.35
3	A195	西尾市吉良町寺島城下	0.24
4	A200	西尾市吉良町白浜新田北切	0.23
5	A211	西尾市吉良町大島一反畑	0.21

資料表 7-4 最近 6 年間の累積沈下量ワースト 5 (平成 21 年 9 月～平成 27 年 9 月：西三河地域)

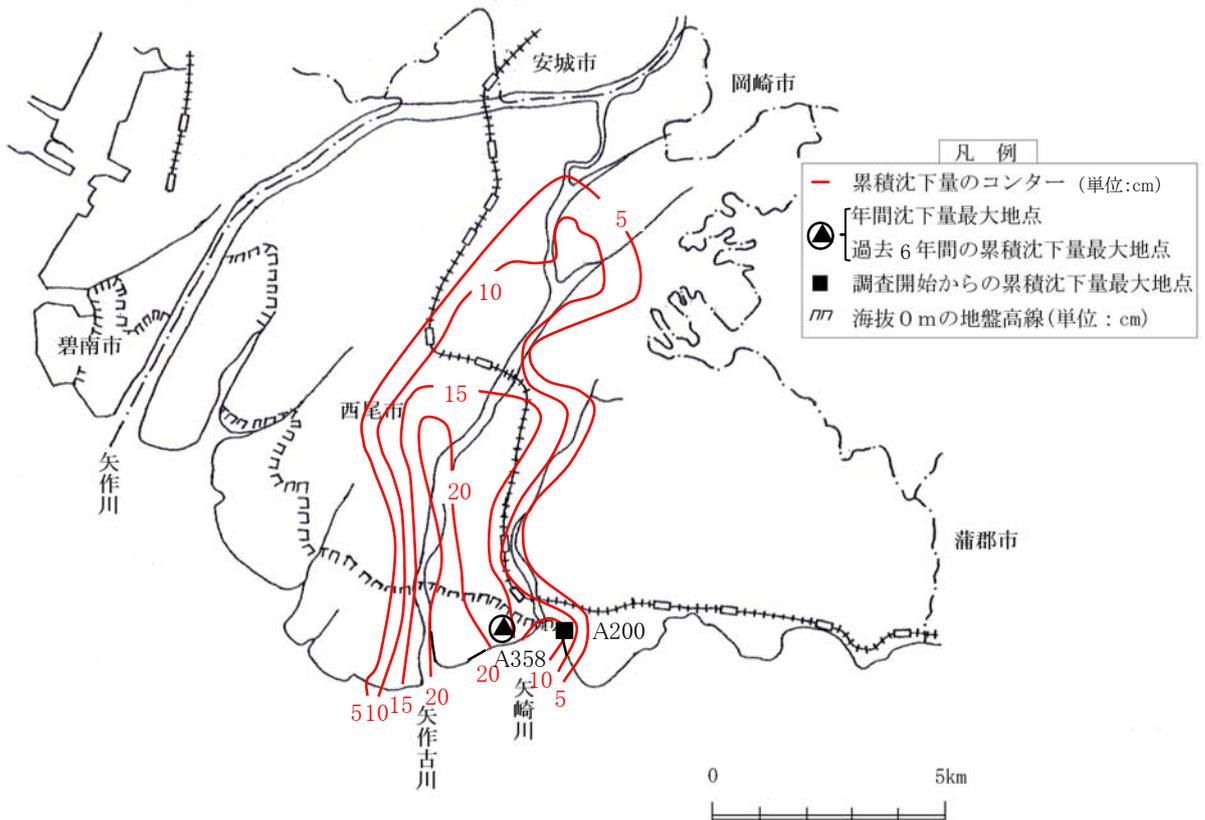
	水準点番号	所在地	沈下量(cm)
1	A358	西尾市吉良町吉田万田	1.43
2	A200	西尾市吉良町白浜新田北切	1.18
3	32	西尾市吉良町大島上	1.08
4	166-1	岡崎市八帖町往還通	0.96
5	A-4	岡崎市福桶町字宮越	0.77

資料表 7-5 累積沈下量ワースト 5 (調査開始年～平成 27 年 9 月：西三河地域)

	水準点番号	所在地	沈下量(cm)	標高T.P.(m)	調査開始年
1	A200	西尾市吉良町白浜新田北切	45	+ 1.0225	昭和50年
2	A197	西尾市吉良町富田油田	32	+ 1.2470	昭和50年
3	A196	西尾市吉良町上横須賀菱池	25	+ 2.2424	昭和50年
4	A211	西尾市吉良町大島一反畑	24	+ 0.0778	昭和51年
5	A358	西尾市吉良町吉田万田	23	+ 1.3620	昭和52年



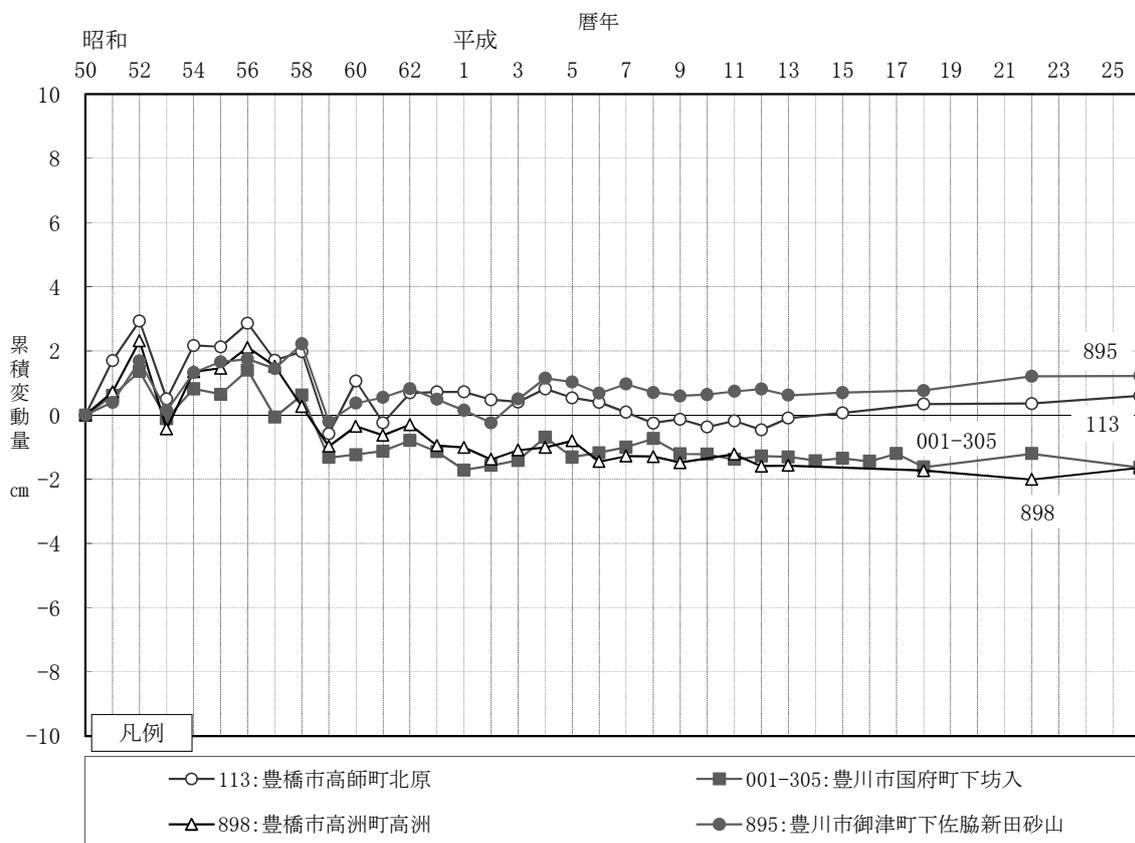
資料図7-2 主要な水準点の調査開始からの累積変動状況（西三河地域）



資料図7-3 累積沈下量のコンター図（昭和50年～平成27年：西三河地域）

2 東三河地域

平成 28 年は水準測量を実施していない。最新の測量は平成 26 年であり、平成 26 年までの主要な水準点の累積変動状況は資料図 7-4 のとおりである。



資料図 7-4 主要な水準点の累積変動状況 (東三河地域)